糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり

国立公文書館
National Archives of Japan

四谷

四谷 四谷ハ四ツ谷ニて今西ノ方内藤新宿ノ辺迄ノ惣名也

里老ノ説此地ハ四方ニ谷有リ故ニ四谷ト名付ルとし 南ハ鮫ケ橋[illegible]

此地ハ永禄ノ頃霞村と唱へ[illegible] 又云往古此地ハ武蔵野ノ内

続キし 時ニ[illegible]家居[illegible]有りし故[illegible]

牛込[illegible]之社 二丁目より麹町[illegible]

武蔵六月十八日[illegible] 稲荷[illegible]

四谷伝馬町一丁目二丁目ノ北側 横町ニ入ル

[illegible]

別当ハ宝蔵院[illegible]

四谷[illegible]

鬼子母神

四谷坂町[illegible]

明治十三年購求
六三八八

[illegible]

鬼子母神之像ハ日法上人ノ彫像之由ヲ傳フ文永元年十月三日日蓮上人

評母君と拝せんとし旧里安房国小湊ニ伺ふ母君悦ひ保り数年

上人大ニ歎き玉ひ生活シ給ふとせんとして先徳清日法上人ニ命て

此本尊を造らしむ依而此本尊ニ祈給ひ寿命を延ありて暁ニ蘇生し

玉ひ後寿を保つ事四年ク鎌倉経ハ藤田氏某付て此像を信奉せしか

本尊ニ霊示ありて享保十二年爰ニ安置したり此ニ移入たり

妙典山戒行寺　同宗南寺町　日蓮宗延山ニ属せり

寛永之頃迄ハ鞘町一丁目ニ在堀端ニありし寺号を日胤庵室

なりしを近隣安兼氏庵主ニして力を合せ一寺と成す

南寺ニ日良所々山本勘助晴幸入道鬼舷の孫延山日暁上人ニ会て

後半くして [illegible] 南寺ニ明暦ニ寄り此地ニ造る總り頼て

妙典山と号し胡録是を書せしを此寺ニ伏此寺と称りる坂

又寺を若と称ける者と唱へより

子安鬼子母神 [illegible]

波平観世音菩薩　同所南寺町称ける坂口ニ在り [illegible]

真成院と号此本尊 [illegible]

村ニ在納入道 [illegible] 大坂田陣 [illegible] 上杉家 [illegible]

彼の像を後江戸ニ持り南寺町ニ収しり [illegible]

本尊聖観音 [illegible]

忍原　同所四谷通り小名ニ寛永十年忍 [illegible]

松平直則 [illegible]

右 [illegible]

忍原 [illegible]

篠寺　同所塩町二丁目 [illegible]

篠山ハ其名也 寛文二年七亥ノ草剣ニして寂山ニ於て成学
和尚本尊を移し来ル 書写文珠ノ像へ云南ニも長老居
時ひ形斗りノ草庵ニ陣地小篠の二艶著せり 寛永ノ比
大樹公通て御寺の将ニ附 厳命により篠山ニ寄せひ陣地を免
哉ふ壇ニ名あり 救ひを信ニして今も寺あり 方ニ三大牛川地ニ
小篠ニ陽ニ依り建つて額ニ無ニ其世ニ 永年ニ而て和尚ニ
筆也

四谷大木戸 又大関戸ニ 甲州及ひ青梅江ノ御道ノ出路ニ而寛政年中七
旭ノ宮ノも云し但陣ニ入て通ノ道ノ延とにて地ニ於て大宿ノ一所ニ道ノ村地ニ
堤還ニ入ると是を止せる通路とて江戸へ御出す諸侯ノ荷物を送り
ありきを通ニあてしより 今ノ木戸諸侯ノ荷物をうけ江戸ニ蔵
又ハ荷主屋名ノ手形を出して通ニ 其後 風ノ時 ある所 勘定
番屋も町ノ持ニ而 先寛政ノ騒 諸侯ニ相談して 飾並り ノ小沢 古図有之時

追風ありし又同所ノ方ニ堤還ありと横ニあり 大橋市ノ右ニ流
小溝と横川と存へり

内藤新宿 甲州街道ノ宿駅ニ 日本橋より二里
元ハ井出追ニより後ニ凡四里餘りかして人ニ為キ 芳ニ信高元禄
以時地ニ為ニ 官府ニ願キて新ニ駅舎ヲ立ル故ニ新宿ト
名ニ云ノ 以前ノ宿ニ於て ありし 享保ノ頃 廃せしか 又明和九年
壬辰年ニ至り 再ひ之を許せと仰ニ 新宿ト再興ニ入して今も繁昌の地なり
追分ハ 同所甲州御道ノ 是より西へ入れハ青梅
街道也 同所あり

霞関山 大宗寺 内藤新宿北側 甲州往還 大木戸ニ二丁余りニ有り
浄土宗ニして 縁山ニ属す 本尊ハ阿弥陀如来にて 恵心僧都作
伝 第二世 参坂心誉 和尚ノ頃ニ 留めし 寛永ニ 庵ノ寺と
寛永の比 内藤大和守 重頼 此地を 寄附あり 村名 ありし 堂

有りしを重龍寺に地を与へられ廣譽をもつて大宗と
なりしハ重龍元和年中さいなんらいるを大宗と附けられし
其ノ寺ハ高田辨當しかるに阿弥陀如来を遊して縁ハ諸堂仏師に作らせ
りくへり代々住持にて此の梵鐘三尺程にかけられ此所を以つて山号を
造立せし所の銅像は此所にもて浄家の常念仏の道場とす

渡辺山寺能寺　同所遊行の寺の上方甲州街道の左に有り浄家
禅宗にして和尚の起立せし寺也年中都ての尽き寺あり
て北川の辺に有りしを後江戸へ遷し牛込に有りしを元和三年
癸亥二月十六日火災にかゝり寛永年中是より此地へ移りて又
牛込の法をはじめ西馬場に行ける地を日野和尚の寄進ありて
の銘の記ありし　境内ハ地蔵堂を観音堂と云ふ

鉄河橋　龍川出口中館の後西南の方坂を下る所の坂ハ家作の
今は辺に聖なるもの墨染の昔は地蔵の堂ありしも銭の傍

本多氏の家をもつて云ふ此地を永井のヒ又は又兵衛
相院の中に又佐用の仏の寺にあり此所の寺
鉄河橋の辺に　一行今の寺也

永岡山一行院　鉄河橋の南の方日暮に有り浄土宗にして寺山にて
源蓮社和尚参州覚和尚と云ふ当寺の年中五月に草創して後
永井家寄進して寺の浄判と号す開山行覚和尚も同じく永井信濃守
尚政の後に寄進し此の判に有る地の此辺に有ける日暮にて所を
浩頼の村の日暮の地を日に因るの名と勘じ縁より宿の所縁に集せし所の目暮なり
明の又祖本ともの日暮に伽藍の紫なる本とくの伽の坂の橋の辺の後の祖の寺
伽の又は伝の行の坂の伝法の名あり

阿弥陀仏銅像　唯本寺浄家長禅寺の境内に安りて坐せる丈一丈余り仏像な
常念仏永十四年丁亥八月十五日の日に鋳造せし所の口の宗和紹の寺の仏の大なり
佐伯円に有りしを寛永の比は江戸に移り此所に安置せり
按ずるに宝永十四年ハ足利将軍の時代に当り世に仏師と称へ可しことを覚たり
鋳物にて言ふ尊き地をは村の故にて世に仏称と阿弥陀仏と称す

[illegible]

太神宮　因而ハ婦[illegible]方ニ[illegible]方ニ[illegible]
疫疾流行ス富士ノ北方ノ神遷リ
中ニ太神宮ニ[illegible]
[illegible]

遷宮ノ杜　因而[illegible]

大樹　[illegible]

[illegible]

日蓮宗ニ[illegible]
[illegible]
日蓮ニ[illegible]
[illegible]
南ニ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

千法ト名ク観音堂　寂光ニ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

縁起ニ神亀二年乙丑行基大士東国遊化ノ頃同年ノ初秋寄ノ堺ニ
遊ひ給ふ時ニ此之端観世音傍ニ出現しありし大士塑像ニ作り
給ひ行之ニ熟しかしこに作りし古様を仏殿しに此本尊と相副し
其后今観音霊験ニ寄依りしと云り

手孫ケ谷八幡宮　同所下ニ往ム所ニ付也へ参詣して例祭を
七月十七日也　別当ハ真言宗　寺号霊山瑞光院と号す

綺懸松　門前ニ松之老樹あり寛永ノ頃　大樹此地ニ御放鷹ニ付此憩ニ御乗馬ヲ此松ノ枝ニかけりしと云故ニ名とす

往昔ハ往古此地深林ノ中ニ時として瑞雲立しからゝ又朱付鎮守ノ
白気降りてゝ霊を敷す村民怪しみて彼林中ニ至る処ニ忽然として白幡
数多有りとこしにて飛ひ行く所にて其霊場を称し小祠を営なみ
幡ノ表しより貞観二年慈覚大師東国遊化の時村民寄大師ニ幡ノ事を評
御ありて求めし依て所作八幡宮と唱ス幡之嶺之様りあら古ハとゑひく
神功皇后　應神天皇之時を祭りて今の幡を飛り流りて正八幡宮と
号す故ニ遂ニ幾久寿年中ニ至迄正統領地之鎮座之神社となる其
今ニ至り其地ニ遺され神霊ヲ熱田ノ神地ノ神名アリ如来之儀ニ左ニ神地ノ在る
社と遂営して此地之生ず神と称し奉り申して今霊神ハ熊として
日の新くゝ　幡鳩ノ事ノこの祠社ニ寄近ハ源家ノ隠密此地を降りてゝ大霊ノかりし

代々木野八幡宮　同所ノ方代々木村ニ在り　祭礼も
九月廿三日ニ勤りす別当ハ天台宗ニして宝珠山福泉寺と号
其ノ徹ハ知れなし

社伝ニ当社ハ往古源頼家ノ家臣ニ近藤三郎是茂の家人
荒井外記智明といへる者故ありて当所ニ遁れ此代々木野ニ隠棲し
宗友と名を改め年月を送りしに八幡宮を信じて神まつりけり
常ニ此ノ経怠らざりしに建暦二年八月十五日の夜夢中ニ鶴ケ岡
八幡宮之霊示ありて宝珠を殿ニ蔵めて遣しよ依て日々見ける此地を
求めて荊棘を拂ひ小祠を営むし初て鶴ケ岡八幡宮を勧請し

幸あらく

鞍懸松　国府より行り佛へ云源義経奥州へ下向の時此所に
陣を取此松樹の枝に鞍を懸ましし故名付けりと云　是ハ源平の頃より有といへとも是と相違なし

代太橋（ダイタ）　甲州街道萩窪に立場より二三丁余り先にて右杉原青梅街道
廻り代太橋と云角村入合辺に行りし曲折して不し通路と
此橋切て流るる小川の架ス　此所辺も道となりて流るる橋なくて小流ありて架けり
磨かなく、こを形ちも尺　此橋の小流まて流るれハ

高井戸　此所も甲州街道なりしく　駅名行り
此所をすぐと高井戸と高井戸は此所を西にて行り　小田原北条家
の但時に大橋氏来れるに　高井戸と云へる　此所へ高井戸と云り
是より甲州街道をすぐと高井戸と云へしもむかし合ひて高井戸と云し　初よりて上高井戸下高井戸と云へり
高井戸宿所に此中程より宿を通り　当寺ハ此辺ニ罷在ぬる

東高井戸　下高井戸と高井戸月山覚顕寺より入る日蓮宗なる
安養寺　龍泉寺　霊像七宗祖大士の御化儀と号す

遠長五年癸丑八月八日日蓮刻之と行り
縁起曰文永六年九月十二日日蓮大士…此所に流され給ひし時
御袈裟を大士臥み…故日蓮大士…此清蓮花経と書せ給ひ…
向形と行りし法流寺後の鬼子母神を…波老女と授けて…
刈者みハ高く…此霊像を信し…寺宝八年癸丑十二月…
像の物…寺ニ有…此法に…
康由年中…日蓮師…
旅人ハ…せしと

布多の里　今布田宿布田邑と云や　布田は蔵国の布を作る所にて往昔より此制札は布にて作りと行り
此地も甲州街道にして上下布田にわかれて五ヶ所ありて布田五ヶ宿と云へり
此所に風土記にまた布田名物布田の…此地に…
布留の…
梅の万葉集…
…
七八月に…
…
何布を晒し…

[illegible]

布多天神社

上布多天神と申す所に鎮座まします廣福山薬法寺と号す日蓮聖人弘安元年九月十八日に流罪の時南社に参詣ありしに社前に二尺ばかりの大石ありしを法水に投げ給ひ後人この地へ近寄ると行方知れず小祠を建て今に存せり

虎柏神社

因幡の国の方十町ばかりを隔て依須村にあり

社家に古松一株巨樹

虎柏山極楽寺

因幡の国の方にあり日光院と号す天竺の人

開山大師寛元三年庚寅深大なる海辺に

[illegible]

軍剣を持ち給ひ紀域を守護し給へり中ごろ立像の天神を安置す社殿

大伽藍と安置す社殿

薬師堂

布袋堂に安置す薬師佛を立像に長さ三尺

[illegible]

山堂宇二百有餘坪中薬師は法華経を唱ひ

[illegible]

柏沢の旧鎮地

極楽寺

[illegible]

[illegible]

[illegible]

青渭神社

[illegible]

虎柏神社

[illegible]

青渭神社

[illegible]

青渭院

[illegible]

海岳山源大寺

[illegible]

南方神社

[illegible]

隆寿院

[illegible]

要石

[illegible]

立大石

[illegible]

清樹

[illegible]

無為成就寺

[illegible]

毘沙門天吉祥天社 昔ハ各別社ニてありしを後年ニ至り合社となる 吉祥天ハ福満長者の娘の守り本尊也といへり
毘沙門ハ代々吉祥天ハ[illegible]

深沙大王社 大門並木ノ東ニ有 寺ノ縁起ニ曰天平五年癸酉満功上人此地ニ来て社を建て深沙大王と号す[illegible]
棟札ニ寺号を一寺を号剣寺とせられたり [illegible]権現窟[illegible]

此社より池中へ下る所ニ一ツの島有り

銭立石 同所池の中に在り ツカミ[illegible]
深沙大王影向池 社の後ニ有り[illegible]

福満童子祠 深沙大王の祠の前ニ有り

仁王塚 [illegible]

[illegible]

[illegible]

縁起云 〔福満〕長者ハ此里の柏野村に〔福満〕といふ者あり(柏野村今佐須村也)
名を太道と云年頃山の小所に住けるか殺生を業とし人の為めに恐れらる
世に来りし妻と女を虎とし入り 此妻常にせまとへしと嘆き(て)殺
生をとしむ 太道ハ妻に随ひ竟に精進と心を定め後に一人の
娘をもうけしかハ其かしつくこと甚長者となれり 然るに
福満と云ふ者 童子なりて此娘を迎ひとらんと父母に乞ふ

かくてありけるに人々あやしみて其ことをたゝすに過二人ハ年をかさね
娘とハ此里の池中に島を築き隠しける福満ハ甲斐なき
峯に逃さんと頻りに思ひけれハ甲斐なし 昔唐の玄奘三蔵流沙
流砂川を渡りしに仏を念せしハ深沙大王現れて此川を渡し
まゐらせしと思ひて一心に念しけれハ一ツの霊亀浮ひ出て福満
を中の島に渡せり 娘の付たるをも渡せり 父母後に是を
聞て神明の冥助なりと知り遂に赦して娘を福満の妻と合せ
それより竟に一人の男子をまうけし父母も喜ひより寺を開き
満功上人とて後に唐に渡り大宗法相の旨を伝へて帰朝し
天平五年癸酉夏の初めより深沙大王の社を建立し
寺号を剣寺と付其霊水中の岩上にて現れ出ハ上人の尊容を
模しいけんと手ありし所に然るに七月七日玉川に流木流れ
漂ひ寄りけるを取りて薬師仏の御身を彫刻し一躰を安置し社を

炯也 餘三師七十押出自先 此由献年し達しられい 奈帝し由守

勅額所と定られ 淳岳山源太守ニ寂翁と濃く海額とす

又貞観年間武蔵国龍宗及経守す献山の恵亮和尚住せ

乱城修復を行ひしかは小和尚南字なり五りけは勅く

利物と虚空へ授り云随ふ所の揚地と場とせしか趣ハ

西か不く遍く見て南も并泉の過ぎ石の随ふ此石を銀直及云

徳の及大弓を勅使し此地と旅の禄清を派係せられし

りかも以見りらん 道流篤く修彼せり 徳の献歳を余り

南ゟと恵亮の場ハ此所らち七邑と地を寄附らる

北邑と源太守 七邑と呼ふ

志ゟ有りしハ清和宗を称しへ台宗へ改められ

渡る安民の禄法を守らて関東第一之霊場と称えけり

猶其十年[illegible]大師[illegible]遠へり

嬉しさよりしを世田谷の吉良家源の其ひ帝守を

営と波年り安して見ると寄附す 〔細注〕[illegible]

缘起ハ物表詞書二巻 参議[illegible] 藤原公并に筆

粉南もて関東献通寺紀縁起初め蔵有りしを 慈眼大師

大猷公 上覧し達しけり献通寺紀百遍とも文書を揚ひ

系も緒様と名勝と四律と化させ給へりけり南ゟ献通寺紀

缘起之律之 〔細注〕[illegible]

源太守土蔵婆 〔細注〕[illegible]

州ニ安て此石と号らしむ

雖波田源三城也 源太守大の松列樹と東の方ニ高さ五六尺や城山と

呼へり今も麦畑とうるとへし此所波所の深池も称す也より此塔

清和帝の正宗龍宗ゟ武蔵国とりし時其に住せられしし

旧館と跡ゟし[illegible]文も見ゟ上松娟兒家臣雖波田深三夷広宗

松山城の古跡としして実に城郭を構へさりしと

小栗五代記曰く上杉修理亮嫡男五郎朝宗生年十三歳にして家を継別当ありて今の城を再興し小栗氏綱に向ひ只安しと企ありしかとも七月廿日に北條氏綱文武年に攻来り五日に軍大に敗れ難波田弾正を後方として松山の城へ落行きしを少将方に山中に追ひつきけるを
やかしきにあり去日に軍大に敗れ難波田弾正を後しさして
一首かくとさこえける

秋の月治り居て吉今集に寄せ給ひ合せて此落城の上かれし
老朝宗と鈍き郷一遍難波田うれるを松山落せし流しこそ有へけれ
持ち詠に治とその作者とひ何れとも
柳今川となる事なとかへりきこえて

深大寺城跡　深大寺仏堂の境の前にて山続きにふしして壱丁宛七千を
堀きり塁址（カラ）未た柵の趾ありしと思しき形今に相残れり
小栗五代記に大永四年に北條氏綱江戸の城を攻撃す　上杉朝興も
あへて河越の城に籠りけるか　是又杉の逆へ安
り川かれ例ならす心ちそこなひて天文六年卯月
世をはやくしき嫡男五郎朝定生年十三歳にして家を継
きひなゝてにれ父の七七日の法忌さへ経すして府を治とか
うと起し深大寺と云古城を再興し氏綱の向ひ城にまて企

沙とこえとある浜川比所の事や

醫王山西光寺　最勝院と号す　本寺同村にあり　府中谷保の寺
中ノ所を偏ス南向きて天平年中行基菩薩薬師如来を
彫刻し勅願所にて中興無寺山を数心比丘と号す　今も
新羅の出土云伝之

茱萸堂　市場茱萸如来　経王日光月光十二神将の像をあり　茱萸御堂より甚大なり　仏具を
金光明四天王護国之寺

二王門旧跡　市場茱萸如来筆　二王の像
方九尺許り三角の礎を存す　二王門の旧跡なり　今は畑となりて礎石を残す

古瓦　二王門旧跡より出る古瓦を見るに皆古の国分寺の瓦なり
文保寺　二王門旧跡より出る古瓦なりと云

塔旧跡　塔の礎石今に残る　方九尺許り二段に積みし礎石あり

国分寺碑　茱萸堂の前にあり　脇に武蔵国分寺と刻みて建てたり
書に河保寿と云ふ

南多摩郡国分寺村は武蔵国府の国分寺にして　天平勝宝年中
の建立にして往古の伽藍甚だ広大なり

[illegible]

富士見塚

一瞬ゝ雲霧ゝ[illegible]

阿弥陀坂

[illegible]

高ケ窪

[illegible]

いし振かりしとや　此社は牛込の竹林の中に四ある　此所をも出て小日向の旧跡へとらへり

傾城ヶ松

目白の東の方八幡宮の社地にあり　同し頃の古松二株双立せり　古人遊君の家より此松をこひ植けるゆゑ然れ共社地の此八幡宮の神樹なりとし

武蔵野

南は多摩川　北は荒川　東は隅田川　西は大嶽秩父根を限りとして　多摩　豊嶋　新座　荏原　足立　那珂　都筑　比企　入間　高麗の十郡に跨り　草多く生ひて草木茂り　又草の枕の旅寝の日数をわすれ　昔へ今の里の遠く松代とし　詠人はもとより　匠の多くは今昔に中にも此所を　草露のしけき棚川の流れの四隣に[illegible]　家保の頃より段々新田開発ありて新田林園となり其古の風景も見えしのみ　月影桜山の名に実を顧望する時の暁り　荻花も残りて其跡の状を追憶するのみ　桜山も荻花も中々に残れり

武蔵野の霧　霧も甚く姓活すゝめ都芳の院にかへ　院に降りて後遊ぶ其所にて世を遊ひて法の友と遊歩し　此山の庵を結ひ月の都の武蔵野の広さをもて　六十年を経て西より法師遊逝す一宿を投じて通宵（ヨモスガラ）　古の清し涙を細袖に濡らす暁の遠く別れ　徳杖桑縁迷はし

紫草

武蔵野の名物なり　和名類聚抄にも　洲にす　紫は最よく色よし　古歌にも見え　又位に色紅　染合せる根を用ゆ　深紫の根なり　紫の根深く　紫の根様以ての如くに比しては縁（ユカリ）の色も以てゆかりの紫深い絶ゆる　那の比にありて江戸紫の根なり

逃水

武蔵野の名物にて野に見ゆ　仲秋の末霧雨の後　野を行き四方を見れは遠くに水の通ひ難し　其所に依りて近くに寄れは逃るとなり　故に逃水の名あり　吟曲にもとり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

甲州御領郡内命二付之

府中宿

[illegible]

武蔵国府[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

馬場

[illegible]

馬市

毎歳五月十日ヨリ九月晦日ニ至リ[illegible]

制札

[illegible]

一ハ所ニ於テ馬町立事

右五日ヨリ九月晦日ニ至リ[illegible]

若違背シ[illegible]

[illegible]

月日

奉行

[illegible]

競馬

毎歳五月五日ニ[illegible]

神楽

[illegible]

大神事

[illegible]

伊田

[illegible]

天市

[illegible]

小祭

[illegible]

天王祭

[illegible]

田西神事

[illegible]

社記曰　垂仁天皇御宇[illegible]年[illegible]月[illegible]日[illegible]命山城縣[illegible]
神社行[illegible]
[illegible]
見[illegible]命[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

牡丹庵と称し[illegible]

[illegible]

叡光山安養寺　妙光院と号す　[illegible]

[illegible]

武蔵国造先祖日命敏鎌旧跡

石鎌[illegible]

大樹屋　[illegible]

[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]

毛呂村　[illegible]

[illegible]

悲願山吉祥寺　[illegible]

[illegible]

像と[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]と共異なりて沼海上人と中興[illegible]田園多と寄附せり
[illegible]田陣に頼朝[illegible]
[illegible]遍法親王[illegible]解状[illegible]
[illegible]中収納する所の[illegible]解状[illegible]
[illegible]して[illegible]百二十二[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

伊勢乃　小牧之郷　昔実法寺之領地　耕田　[illegible]　廣中　中町　[illegible]
乃　[illegible]　[illegible]　小牧郷　[illegible]　[illegible]
[illegible]

小牧之村　伊勢乃と隔て[illegible]信濃と[illegible]地と[illegible]
[illegible]　小牧之村[illegible]
小牧郷と[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]

小牧神社舊地　小牧之村伊勢乃[illegible]
[illegible]

社記南社　[illegible]
[illegible]
[illegible]

六所宮[illegible]興と與来[illegible]
色[illegible]実[illegible]多麻川[illegible]岸[illegible]遠[illegible]
[illegible]

小野牧

今[illegible]府中[illegible]小[illegible]
[illegible]農田[illegible]地長牧[illegible]
[illegible]注[illegible]南[illegible]
[illegible]風[illegible]
[illegible]

法師山林寺

府中南[illegible]
[illegible]別[illegible]
[illegible]案[illegible]

[illegible]
[illegible]南[illegible]
[illegible]

法師山寺

[illegible]
[illegible]多麻[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

矢部郷 宝珠

矢部郷 祝山井

祝音寺

南方[illegible]

[illegible]

南方[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

西三位藤原経朝

常盤清水

[illegible]

建治元年己亥六月廿六日乙丑書之

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

為当寺[illegible]一張 同画像一幅 同甲冑 中[illegible]

仏教大所[illegible]像 [illegible]

一[illegible]十二[illegible]像 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]

永禄二庚申年三月七日　　立川文内[illegible]

南方[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

八幡宮　同所二所牛頭天王社　[illegible]

[illegible]

[illegible]

多賀川　南北ニ流レ勝願寺ノ前ヲ流レ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

経箱　この箱長短文字如此一切經と共に製作す九寸二分口

長寛元年秋機　十月十一日候

[illegible]

大勧進聖人　僧辨豪

結縁者　僧玄久

如法書寫　僧觀賢

僧定円

僧瑞久

僧定阿

僧尭尊

僧辨意

駿仕僧樂西

同一箱　[illegible]

大勧進　僧尭尊

大檀主藤原氏満貞卿

永萬元年九月十七日天

其蓋裏曰

大勧進所　百草村

松連寺

同一箱　金泥を以て製と長寸[illegible]

[illegible]

兼釣命

日本幕下　祈

建久四年

八月　一宮別當

松連寺　修之

八幡宮本地佛　阿彌陀如来像　金銅二寸四方仏

[illegible]

八幡社記云建久四年源義朝公[illegible]

[illegible]

井井

[illegible]

二宮塚

[illegible]

百年八幡宮

[illegible]

宮寺八月十五日上ノ宮ヲ[illegible]

[illegible]

[illegible]

刀杖ヲ収ル神徒ヲ附ス[illegible]

[illegible]

[illegible]

一宮大明神社　百五十八町六反余

[illegible]

一市場　一ノ宮ノ南ノ方半町計リ北ノ方ニ偏テ耕田中ニ[illegible]樹木[illegible]

繞ル所ノ人百五十八町余ノ所ノ[illegible]

横澤八郎ノ墳墓　小山田四郎ノ城ノ上ノ[illegible]樹繁茂セリ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

小山田関田地　今宮戸と杉戸の別見え　多摩川南岸をいう　古へ府中より

帝方及び鎌倉に通ずる道路なり　其地関と称せしは

[illegible]

其地関と称し如前こゝの要路なれば自然合戦目撃の為

如年貴之仍如件

天文九月廿三日　　憲秀　花押

[illegible]

対地と昔鎌倉時世繁昌なりし頃より[illegible]

[illegible]

年紀に曰く天文二年合戦[illegible]

軍兵[illegible]

[illegible]

処命令　毒蛇[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

長渡[illegible]と[illegible]中興[illegible]
[illegible]
無[illegible]九和[illegible]
[illegible]
正紀[illegible]

小浜小左部[illegible]

[illegible]

大日如来[illegible]像

[illegible]

玉垂の神祠　[illegible]

[illegible]

[illegible]

玉垂神像　[illegible]

穴沢天神社　谷口邑風光なる東山の麓に所在す国[illegible]
[illegible]遷座なる方小沢と入て行り社を山の中腹に行り辻堂と小沢ケ
原と偶今祭神[illegible]す後世菅神と合祭せり祭礼も
七月十五日九月十五日に人国の神楽を演ず九月十五日の祭を
奥の日すと別南に去る宗[illegible]して成[illegible]
南北に縦と洞小沢を[illegible]麻川合す其流を[illegible]
一[illegible]義[illegible]穴沢[illegible]昔義洞と[illegible]
[illegible]洞穴[illegible]洞[illegible]

小沢城址　谷口天神社の東小沢の[illegible]
元文二年七月[illegible]
小沢次郎[illegible]
小沢[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

新飛ノ瀧 俗ニ北瀧ト稱ス

小仏ノ嶺ハ小山田ヲ過テ多摩郡ニ屬セリ其山

[illegible]

又宮林ノ東南ニ[illegible]ト称ス神奈川道ニ屬セリ南北

[illegible]

青梅ノ社　同郡長淵村ノ通道ニ位リ[illegible]社ニ

[illegible]

柴胡　八月十五日ノ[illegible]

仙谷山壽福禪寺　谷ノ口ノ[illegible]

[illegible]

菖蒲村　[illegible]

推古天皇三年戊午重修　今ノ東剣

[illegible]

延長四年安祥所ノ[illegible]

和銅世音　[illegible]

種　[illegible]

阿弥陀堂　[illegible]

指月橋　[illegible]

株茅草　[illegible]

方丈　晩鐘品ヲ云

大般若經六百卷　[illegible]

相傳ノ推古天皇三年戊午重修ノ[illegible]

地藏　[illegible]

七面ノ像　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

**[illegible]

仙石[illegible]山と称し[illegible]
[illegible]
[illegible]

消

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan